

「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」について

骨子案への意見等		市の考え方・対応等
PDCAサイクルの確立（素案P.2）、講ずべき施策（素案P.28）		
1	PDCAサイクルの確立の中で、事業の検証をした後での「ACTION」が重要であり、改善をどのように実施したかの「見える化」を具現化すべきである。	今後も、たかまつ創生総合戦略推進懇談会などにおいて検証を行い、期間中においても、検証結果を踏まえた施策や取組の見直しを行い、その内容についてHPで公表しているところです。今後とも見える化に努めてまいります。
持続可能な開発目標（SDGs）（素案P.5）		
2	会議中にも出ましたが「SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS」のロゴマークとの関連性、つながりがわかりにくいと思いました。 目標値の提示もよいとは思いますが、勝手なイメージですが地域におとしこむと世界観が違うというか、狭く考えすぎているように思えて合わない印象をうけています。	国が決定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、地方自治体に対して、各種計画、戦略等の策定や改定に当たり、SDGsの要素を、最大限、反映することが奨励されています。そのため、このようなSDGsを推進する国の動向を掲載するとともに、本市の取組がSDGsの推進につながっていることを理解してもらうため、本市の取組とSDGsとの関連性を、分かりやすく示すことを目的としております。
スマートシティの推進（素案P.15）、【基本目標5】持続可能なまちをつくる（素案P.137、P.138）		
3	「スマートシティの推進」については、<u>企業が最終的にマネタイズできるビジネスモデルを検討</u>すべきである。また、高松市の発展の為に、<u>企業がビッグデータを積極的に提供できる仕組み</u>と、そのデータを分析し、より良いものに発展させることが重要である。	スマートシティたかまつ推進協議会内のワーキンググループにて、企業と連携しながら実証実験を行う等、引き続き、地域課題の解決やビジネスモデル構築に向けた取組を行ってまいります。 また、本市が保有するIoT共通プラットフォームの実証環境を構築、企業に実証環境の場として利用してもらうことで、データ提供から収益化までのビジネスモデルや新たなサービスの創出を推進してまいります。
4	「学校教育環境の整備」としてICTの整備を進めつつ、「防災対策の充実」として、災害時において小中学校を<u>地域の防災拠点として活用できるようにICTの整備を進める</u>べきである。	多様な主体との連携により、それぞれが保有する先進的なICTを活用・連携させることで新たなサービスを創出し、複雑化・高度化する地域課題の解決を目指してまいります。
【基本目標2】若者から選ばれるまちを創る（素案P.19）		
5	今後ますます各都市の交流人口・関係人口が増加することが想定される中で、いかに<u>持続的にこれらの人を呼び込むか</u>ということと、<u>これらの人に依存せずとも持続可能な基盤づくり（地元の産業育成）</u>のための施策を盛り込むことが必要と考えます。	「関係人口」の創出・拡大に向けた更なる取組を実施してまいります。 また、将来的にUターンしやすい環境整備として、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出や、地域の特性を生かした産業の育成に取り組んでまいります。

「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」について

	骨子案への意見等	市の考え方・対応等
【基本目標1】創造性豊かで人間中心のまちを創る（素案P.39～P.42、P.53～P.55）		
6	生鮮食料品等流通の強化、特産品の育成・振興のために香川産の海の幸を使った、高松市主催の「料理教室」を開催していただきたいです。 イベントの時に、お客さまから、以前のように、魚の料理教室（高松市主催）をしてほしいという声を聞きます。地元の方にもっと魚のPRをするために香川県と連携して実施してほしいです。	毎年10月に開催している市場フェスタにおいて、魚のさばき方教室や香川ブランドハマチのPRコーナーを設けるなど、引き続き、生鮮食料品等流通の強化に取り組んでまいります。 また、小学生等を対象にした体験学習及び食育教室の開催など、地元の方へのPRも行なってまいります。 今後とも、関係団体と連携しながら、「生鮮食料品等流通の強化」及び「特産品の育成・振興とブランド力の向上」に取り組んでまいります。
7	観光資源の活用と創出を図るために、高松駅から北浜アリーまでの間に飲料店や雑貨店などのお店を増やしてほしいです。立地的に難しいと思いますが、高松港付近の美しい海の景色を、もっと活用をしてほしいです。	海の幸などの特産品を扱う場を、本市が新たに設置することは困難ですが、北浜アリーを始めとするサンポート高松周辺は、景観を含めてナイトコンテンツとしても一定の集客が期待できる、本市ならではの魅力の一つです。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン事業として実施した「高松的台湾夜市」のように、今後とも、瀬戸内海など自然を活用した高松ならではの取組や情報発信について、県や民間事業者等とも連携しながら、取り組んでまいります。
8	高松駅周辺に兵庫県明石市にある魚の棚商店街のような場所を作って、地元の方や観光客が魚を買いに来るお店を駅の近くに作っていただきたいと思います。	